授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	1
授業科目	総合演習ⅩⅢ（特別活動）
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	イベントを通じて周りとの協調性を学習する
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得する
達成目標	イベント活動におけるコミュニケーション力向上
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1　学校行事　コミュニケーション実践１ 2　学校行事　コミュニケーション実践２ 3　学校行事　コミュニケーション実践３ 4　学校行事　コミュニケーション実践４ 5　学校行事　コミュニケーション実践５ 6　学校行事　組織運営１ 7　学校行事　組織運営２ 8　学校行事　組織運営３ 9　学校行事　組織運営４ 10　学校行事　組織運営５
成績評価方法 (試験実施方法)	出席点100％
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	2
授業科目	総合演習Ⅲ（計算技能）
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	必修
授業方法	実習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	電卓の操作方法を学び、計算演習を行う
授業の進め方	電卓と電卓練習用教材を使用した技能演習
達成目標	数値演算を通じた、計数能力の向上
教科書	オリジナルテキスト・電卓技能検定協会　電卓技能検定問題集
特記	
授業計画	1 加減算演習１ 2 加減算演習２ 3 加減算演習３ 4 乗除算演習１ 5 乗除算演習２ 6 乗除算演習３ 7 伝票算演習１ 8 伝票算演習２ 9 伝票算演習３ 10 検定問題演習１ 11 検定問題演習２ 12 検定問題演習３ 13 検定問題演習４ 14 検定問題演習５ 15 検定問題演習６ 16 検定問題演習７ 17 検定問題演習８ 18 検定問題演習９ 19 検定問題演習１０ 20 効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	3
授業科目	経理事務実習
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択必修１
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	経理事務職員として必要な販売管理スキルを学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 販売管理概論 2 納品書の作成１ 3 納品書の作成２ 4 売上事務の流れ１ 5 売上事務の流れ２ 6 売上の計上１ 7 売上の計上２ 8 振替伝票の作成１ 9 振替伝票の作成２ 10 請求書の作成１ 11 請求書の作成２ 12 締め日 13 締め日と合計請求書 14 請求に関する様々な条件 15 代金の回収と領収書の発行１ 16 代金の回収と領収書の発行２ 17 代金の回収管理１ 18 代金の回収管理２ 19 管理資料の作成１ 20 管理資料の作成２ 21 複数の取引先との取引１ 22 複数の取引先との取引２ 23 複数の取引先との取引３ 24 複数の取引先との取引４ 25 得意先と販売管理１ 26 得意先と販売管理２ 27 得意先と販売管理３ 28 得意先と販売管理４ 29 プレ効果測定 30 効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	4
授業科目	経理実務
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択必修１
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	経理事務職員として必要な税金および社会保険の知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な実技演習
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 小切手・手形の実務上のポイント 2 入出金伝票と現金出納帳 3 当座預金出納帳と手形記入帳 4 交際費、福利厚生費及び会議費等の区分(基礎) 5 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理１ 6 健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理２ 7 源泉所得税(給与)の徴収・納付事務 8 所得税の基礎知識 9 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎) 1 10 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(基礎) 2 11 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用) 1 12 源泉所得税(報酬)の徴収・納付事務(応用) 2 13 個人住民税の徴収及び納付 14 印紙税の基礎知識 15 受取利息の会計処理 16 消費税法の概要 17 消費税の会計処理 18 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門) 1 19 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門) 2 20 決算の流れ 21 原則的な日々の記帳から決算までの流れ(記帳入門) 3 22 年次決算と月次決算 23 決算対策・その１（法人の利益の圧縮） 24 決算対策・その２（法人の損失の圧縮） 25 経営分析の基礎知識１ 26 経営分析の基礎知識２ 27 経営分析の基礎知識３ 28 経営分析の基礎知識４ 29 プレ効果測定 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	5
授業科目	給与計算実務
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択必修１
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	所得に関連した税金および社会保険料制度を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な実技演習
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 所得税総論 2 所得税の計算体系及び計算 3 各種所得及び課税標準 4 所得控除額の計算 5 課税所得金額及び納付税額計算 6 年末調整総論 7 年末調整の対象者 8 年末調整の時期 9 年末調整の流れ 10 年税額の算定 11 所得税徴収高計算書(納付書)の記載方法 12 法定調書総論 13 消費税等と提出範囲の金額基準及び記載方法 14 給与所得の源泉徴収票及び給与支払報告書の作成 15 退職所得の源泉徴収票及び特別徴収票の作成 16 報酬、料金、契約金及び賞金の支払調書作成方法 17 不動産の使用料等の支払調書の作成方法 18 不動産の譲受けの対価の支払調書の作成方法 19 不動産等の売買又は貸付けのあっせん手数料の支払調書の作成方法 20 給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表の作成方法 21 給与所得の源泉徴収票等の法定調書合計表の記入 22 個人住民税の税額算定 23 個人住民税の徴収方法 24 個人住民税の具体例 25 個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出 26 給与支払報告書・個人別明細書の作成 27 給与支払報告書・総括表 28 労災保険料・雇用保険料の徴収事務 29 労働保険概算・確定保険料申告書と会計処理 30 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	6
授業科目	マーケティング概論
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択必修２
授業方法	講義
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	営業・販売職員として必要な販売管理の知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、平均８０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 販売管理概論 2 納品書の作成 3 売上事務の流れ 4 売上の計上 5 振替伝票の作成 6 請求書の作成１ 7 請求書の作成２ 8 締め日 9 締め日と合計請求書 10 請求に関する様々な条件 11 代金の回収と領収書の発行１ 12 代金の回収と領収書の発行２ 13 代金の回収管理 14 管理資料の作成 15 複数の取引先との取引１ 16 複数の取引先との取引２ 17 得意先と販売管理１ 18 得意先と販売管理２ 19 模擬試験 20 模擬試験　解説
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	7
授業科目	マーケティング研究
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択必修２
授業方法	実習
授業時間	８０時間
授業コマ数	４０コマ
授業概要	マーケティングにおける市場調査等の基礎的なスキルを学習する
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　マーケティングと顧客満足１　マーケティングの必要性 2　マーケティングと顧客満足２　マーケティングの４P 3　マーケティングと顧客満足３　お客様とは 4　マーケティングと顧客満足４　製品、商品、サービス 5　マーケティングと顧客満足５　流通チャネル 6　マーケティングと顧客満足６　プロモーション戦略 7　会社の目的１　マーケティングと会社の目的 8　会社の目的２　財務知識という武器 9　会社の目的３　決算書 10　会社の目的４　損益計算書の作成 11　会社の目的５　利益率の分析 12　会社の目的６　販売費及び一般管理費の分析 13　会社の目的７　営業外収益＆営業外費用の分析 14　会社の目的８　特別利益＆特別損失の分析 15　会社の目的９　社員1人あたり利益の分析 16　会社の目的１０　事例研究１ 17　会社の目的１１　事例研究２ 18　会社の目的１２　事例研究３ 19　会社の目的１３　貸借対照表の作成 20　会社の目的１４　流動比率の出し方 21　会社の目的１５　固定比率の出し方 22　会社の目的１６　企業間比較 23　ＳＳにおけるマーケティング 24　売上の構成要素１　収益力を上げるために 25　売上の構成要素２　来店客分析 26　売上の構成要素３　商品分析 27　売上の構成要素４　費用分析

授業計画	28	売上の構成要素５　アンケート作成
	29	企業研究発表会ＶＴＲ鑑賞
	30	マーケティング手法の種類
	31	エリアマーケティングの必要性
	32	情報収集の方法
	33	情報分析の手法１　３Ｃ分析・ＳＷＯＴ分析
	34	情報分析の手法１　３Ｃ分析・ＳＷＯＴ分析実践練習
	35	情報分析の手法２　ＳＴＰ分析・ＰＥＳＴ分析
	36	情報分析の手法２　ＳＴＰ分析・ＰＥＳＴ分析実践練習
	37	不況時におけるマーケティング
	38	効果測定１
	39	効果測定２
	40	効果測定３
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	8
授業科目	マーケティング実習
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	３学期
科目区分	選択必修２
授業方法	実習
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ
授業概要	市場調査から企画書作成までの一連の流れを学習する
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	課題研究発表において、有識者より一定の評価を得ることを目標とする
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント・資料
特記	
授業計画	1　市場調査１ 2　市場調査２ 3　市場調査３ 4　市場調査４ 5　企画立案１ 6　企画立案２ 7　企画立案３ 8　店舗見学計画１ 9　店舗見学計画２ 10　店舗見学１ 11　店舗見学２ 12　店舗見学３ 13　店舗見学４ 14　１枚企画書製作１ 15　１枚企画書製作２ 16　１枚企画書製作３ 17　１枚企画書製作４ 18　１枚企画書製作５ 19　１枚企画書製作６ 20　課題研究プレ発表１ 21　課題研究プレ発表１　振り返り 22　企画内容精査１ 23　企画書制作１ 24　企画書制作２ 25　企画書制作３ 26　企画書制作４ 27　企画書制作５

授業計画	28	店舗見学計画３
	29	店舗見学計画４
	30	店舗見学５
	31	店舗見学６
	32	店舗見学７
	33	店舗見学８
	34	企画書制作６
	35	企画書制作７
	36	企画書制作８
	37	企画書制作９
	38	企画書制作１０
	39	企画書制作１１
	40	企画書制作１２
	41	企画内容精査２
	42	企画内容精査３
	43	プレゼンテーション企画
	44	文章表現校正１
	45	文章表現校正２
	46	文章表現校正３
	47	視覚表現校正１
	48	視覚表現校正２
	49	視覚表現校正３
	50	視覚表現校正４
	51	視覚表現校正５
	52	視覚表現校正６
	53	パブリックスピーキング１
	54	パブリックスピーキング２
	55	パブリックスピーキング３
	56	パブリックスピーキング４
	57	パブリックスピーキング５
	58	パブリックスピーキング６
	59	課題研究発表１
	60	課題研究発表１　振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100％　研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	9
授業科目	プレゼンテーション実習
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	３学期
科目区分	選択必修２
授業方法	実習
授業時間	８０時間
授業コマ数	４０コマ
授業概要	プレゼンテーションにおける、発表のスキルを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト・配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 パワーポイント実習１ 2 パワーポイント実習２ 3 パワーポイント実習３ 4 パワーポイント実習４ 5 パワーポイント実習５ 6 パワーポイント実習６ 7 パワーポイント実習７ 8 全体の構成を考える 9 ストーリーの検討 10 論理展開の研究 11 資料収集１ 12 資料収集２ 13 パワーポイントデータ作成１ 14 パワーポイントデータ作成２ 15 パワーポイントデータ作成３ 16 パワーポイントデータ作成４ 17 パワーポイントデータ作成５ 18 「伝える」ことの意味 19 印象 20 話し方の基本ルール１ 21 話し方の基本ルール２ 22 話し方の基本ルール３ 23 アイコンタクトの基本ルール１ 24 アイコンタクトの基本ルール２ 25 ボディランゲージの基本ルール１ 26 ボディランゲージの基本ルール２ 27 ボディランゲージの基本ルール３ 28 ボディランゲージの基本ルール４ 29 ボディランゲージの基本ルール５ 30 質問に対する正しい答え方１

授業計画	31	質問に対する正しい答え方２
	32	質問に対する正しい答え方３
	33	プレゼンテーション実演１
	34	プレゼンテーション実演２
	35	プレゼンテーション実演３
	36	プレゼンテーション実演４
	37	プレゼンテーション実演５
	38	プレゼンテーション実演６
	39	プレゼンテーション実演７
	40	効果測定
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定100％　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	10
授業科目	プログラム言語実習Ⅰ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択必修３
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	情報処理に携わる者として必要なJAVAに関する知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	秀和システム　Javaのオブジェクト指向がゼッタイにわかる本
特記	
授業計画	1 はじめてのJAVA、変数を使う 2 制御構文１　分岐・if文 3 制御構文２　分岐・switch文、制御構文・繰り返し・do-while文 4 制御構文３　繰り返し・while文、for文 5 制御構文４　繰り返し、基本型と演算 6 配列１、配列２ 7 配列3、演習1 8 第1回効果測定 9 メソッド１、メソッド２、メソッド３ 10 クラスの基本 11 日付クラスの作成 12 クラス変数とクラスメソッド１ 13 クラス変数とクラスメソッド２、パッケージ 14 クラスの派生と多相性(継承・ポリモーフィズム・継承とアクセス性) 15 第２回効果測定 16 抽象クラス 17 インタフェース 18 文字と文字列 19 例外処理 20 第３回効果測定 21 総合演習１ 22 総合演習２ 23 総合演習３ 24 総合演習４ 25 総合演習５ 26 総合演習６ 27 総合演習７ 28 総合演習８ 29 総合演習９ 30 第４回効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	11
授業科目	プログラム言語実習Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択必修３
授業方法	実習
授業時間	８０時間
授業コマ数	４０コマ
授業概要	Webシステム開発に必要なHTML5＆CSS3に関する知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	インプレス　いちばんやさしいHTML5&CSS3の教本
特記	
授業計画	1 Webサイトを作成する準備 2 HTMLとは 3 HTMLの基本構造を知る、タグの基本的な書き方を知る 4 代表的な要素について学ぶ、ディレクトリとパスについて学ぶ 5 HTMLを書いてみよう 6 Webページに画像を挿入する、読みやすいHTMLを書く 7 完成形をイメージする、ページの骨組みを作成する 8 ヘッダーとグローバルナビゲーションを作成する 9 メインエリアとパンくずリストを作成する 10 サイドバーとフッターを作成する 11 共通ページをもとにしてトップページを作成する 12 講座案内ページの表組みを作成する、ギャラリーページの画像リストを作成する 13 お問い合わせフォームを作成する。 14 模擬Webサイト作成１ 15 模擬Webサイト作成２ 16 第１回効果測定 17 CSSとは、CSSの基本構造を知る、セレクタについて理解する 18 CSSが競合するスタイルを解決する仕組みを知る 19 スタイルの継承について、文字の書式を設定するプロパティを知る 20 色の指定方法を知る、要素のサイズと間隔の指定方法を理解する 21 Webページの主なレイアウトパターンを知る 22 フロートを利用したレイアウト方法を理解する 23 ディスプレイを利用したレイアウト方法を理解する 24 ポジションを利用したレイアウトを理解する 25 CSSを書いてみよう 26 タイプセレクタを用いてページ全体の書式を整える 27 ボーダーと背景でメインコンテンツの見出しを装飾する 28 幅を設定してヘッダーエリアを整える 29 フロートを利用してグローバルナビゲーションを整える 30 メイン部分を2段組みにする

授業計画	31	ボーダーと背景設定を組み合わせてサイドバー内を整える
	32	立体的なボタン作成、フッターナビゲーションのインライン化
	33	疑似要素を使ってパンくずリストを整える
	34	アニメーションによる視覚効果を追加してみよう
	35	トップページのデザインを整える
	36	講座案内の表組みを装飾する
	37	ギャラリーの写真を格子状に並べる
	38	フォームを装飾する
	39	CSS実践
	40	第２回効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	12
授業科目	システム開発演習
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択必修３
授業方法	演習
授業時間	１００時間
授業コマ数	５０コマ
授業概要	Webシステム開発に必要なJavaScriptに関する知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	SBクリエイティブ　徹底マスターJavaScriptの教科書
特記	
授業計画	1 JavaScriptの概要１ 2 JavaScriptの概要２ 3 プログラムの実行方法と書き方１ 4 プログラムの実行方法と書き方２ 5 プログラムの実行方法と書き方３ 6 変数と値１ 7 変数と値２ 8 変数と値３ 9 オブジェクト・配列・関数の基礎１ 10 オブジェクト・配列・関数の基礎２ 11 オブジェクト・配列・関数の基礎３ 12 式と演算子１ 13 式と演算子２ 14 式と演算子３ 15 Webブラウザでの入出力１ 16 Webブラウザでの入出力２ 17 Webブラウザでの入出力３ 18 制御構文１ 19 制御構文２ 20 制御構文３ 21 関数１ 22 関数２ 23 関数３ 24 第１回効果測定 25 オブジェクト１ 26 オブジェクト２ 27 オブジェクト３

授業計画	28	オブジェクト４
	29	配列のより詳しい機能１
	30	配列のより詳しい機能２
	31	バグとエラーへの対処
	32	正規表現１
	33	正規表現２
	34	Webブラウザのオブジェクト１
	35	Webブラウザのオブジェクト２
	36	ドキュメントの制御１
	37	ドキュメントの制御２
	38	ドキュメントの制御３
	39	イベント処理１
	40	イベント処理２
	41	イベント処理３
	42	HTTPの制御(Ajax)１
	43	HTTPの制御(Ajax)２
	44	MVCモデルによるプログラムの設計１
	45	MVCモデルによるプログラムの設計２
	46	コンストラクタとクラス構文１
	47	コンストラクタとクラス構文２
	48	APIの活用１
	49	APIの活用２
	50	第２回効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	13
授業科目	プログラム実習
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択必修３
授業方法	実習
授業時間	１００時間
授業コマ数	５０コマ
授業概要	システム開発からプレゼンテーションに至るまでの流れを学習する
授業の進め方	有識者の指導を基にグループワークなどを通じ、実践的知識の習得
達成目標	課題研究を制作し、有識者より一定の評価を得る
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 基本設計１ 2 基本設計２ 3 基本設計３ 4 基本設計４ 5 基本設計５ 6 基本設計６ 7 外部設計１ 8 外部設計２ 9 外部設計３ 10 外部設計４ 11 外部設計５ 12 外部設計６ 13 内部設計書１ 14 内部設計書２ 15 内部設計書３ 16 内部設計書４ 17 内部設計書５ 18 テスト仕様書１ 19 テスト仕様書２ 20 テスト仕様書３ 21 テスト仕様書４ 22 テスト仕様書５ 23 テスト仕様書６ 24 プレゼンテーション要素１ 25 プレゼンテーション要素２ 26 プレゼンテーション要素３ 27 企画書

授業計画	28	ストーリープランニング
	29	情報の分類
	30	図解
	31	シナリオ確認
	32	リラクゼーション
	33	卒業研究制作１
	34	卒業研究制作２
	35	卒業研究制作３
	36	卒業研究制作４
	37	卒業研究制作５
	38	卒業研究制作６
	39	卒業研究制作７
	40	卒業研究制作８
	41	卒業研究制作９
	42	卒業研究制作１０
	43	卒業研究制作１１
	44	卒業研究制作１２
	45	卒業研究制作１３
	46	卒業研究制作１４
	47	卒業研究制作１５
	48	卒業研究制作１６
	49	卒業研究制作１７
	50	卒業研究発表
成績評価方法 (試験実施方法)	研究発表100%　研究成果のプレゼンテーションに対する有識者の講評	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	14
授業科目	オフィスワーク実習
実務家教員授業	授業担当者：大原学園教員
	実務経験及び授業との関連性：営業事務の経験を活かし、実務に必要な営業マナー等の知識を身に付けるための授業を行う。
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	ビジネスの場における実践的な立ち居振る舞いを学習する
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実技演習
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 挨拶の必要性 2 基本的な挨拶の方法 3 状況に応じた挨拶の使い分け 4 笑顔とお辞儀の練習 5 敬語の必要性 6 敬語の種類 7 間違えやすい敬語表現 8 クッション言葉 9 状況に応じた言葉遣い 10 来客応対 11 名刺交換の基本 12 名刺交換の実習 13 名刺交換の応用実習 14 営業マナー実習１　訪問の流れ 15 営業マナー実習２　訪問時の基本フレーズ 16 訪問マナー実習１　アポイントメント 17 訪問マナー実習２　訪問当日までの準備 18 訪問マナー実習３　受付・応接室でのポイント 19 訪問マナー実習４　訪問後のフォロー 20 応酬話法 21 商品説明実習１　説明内容に関する知識 22 商品説明実習２　説明内容の準備 23 商品説明実習３　交換を持たれる 24 コミュニケーションの三要素 25 クレームとは 26 クレーム応対方法 27 電話でのクレーム応対 28 店内でのクレーム応対 29 効果測定 30 効果測定　振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	15
授業科目	マナー接遇応用
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	３学期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	８０時間
授業コマ数	４０コマ
授業概要	臨機応変な電話応対や接客スキル、PC操作を学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1　仮想オフィス実習　接遇編１ 2　仮想オフィス実習　接遇編２ 3　仮想オフィス実習　接遇編３ 4　仮想オフィス実習　接遇編４ 5　仮想オフィス実習　接遇編５ 6　仮想オフィス実習　電話応対編１ 7　仮想オフィス実習　電話応対編２ 8　仮想オフィス実習　電話応対編３ 9　仮想オフィス実習　電話応対編４ 10　仮想オフィス実習　電話応対編５ 11　仮想オフィス実習　ＰＣ操作編１ 12　仮想オフィス実習　ＰＣ操作編２ 13　仮想オフィス実習　ＰＣ操作編３ 14　仮想オフィス実習　ＰＣ操作編４ 15　仮想オフィス実習　ＰＣ操作編５ 16　仮想オフィス実習　業務指示編１ 17　仮想オフィス実習　業務指示編２ 18　仮想オフィス実習　業務指示編３ 19　仮想オフィス実習　業務報告編１ 20　仮想オフィス実習　業務報告編２ 21　仮想オフィス実習　業務報告編３ 22　仮想オフィス実習　接遇（応用）編１ 23　仮想オフィス実習　接遇（応用）編２ 24　仮想オフィス実習　接遇（応用）編３ 25　仮想オフィス実習　接遇（応用）編４ 26　仮想オフィス実習　電話応対（応用）編１ 27　仮想オフィス実習　電話応対（応用）編２ 28　仮想オフィス実習　電話応対（応用）編３ 29　仮想オフィス実習　電話応対（応用）編４ 30　仮想オフィス実習　事務処理編１

授業内容	31	仮想オフィス実習　事務処理編２
	32	仮想オフィス実習　事務処理編３
	33	仮想オフィス実習　事務処理編４
	34	仮想オフィス実習　事務処理編５
	35	仮想オフィス実習　総合１
	36	仮想オフィス実習　総合２
	37	仮想オフィス実習　総合３
	38	仮想オフィス実習　総合４
	39	仮想オフィス実習　総合５
	40	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	16
授業科目	総合研修Ⅳ（ビジネス行動論）
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	５０時間
授業コマ数	２５コマ
授業概要	就職活動の基礎的な面接対策を行う
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な実技演習
達成目標	面接試験における所作や正しい言葉遣い、自己表現ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 面接試験のねらい・面接試験の心構え 2 服装身だしなみ・印象について 3 面接試験の形態 4 面接試験における質問研究１ 5 面接試験における質問研究２ 6 面接試験における質問研究３ 7 面接試験における質問研究４ 8 入退室の仕方１ 9 入退室の仕方２ 10 集団面接と個人面接の違い 11 集団面接の評価 12 面接官の見ているポイント 13 自己PRについて 14 自己分析１ 15 自己分析２ 16 自己分析３ 17 自己分析４ 18 自己分析５ 19 志望動機について 20 集団面接実践１ 21 集団面接実践２ 22 集団面接映像確認 23 個人面接実践１ 24 個人面接実践２ 25 個人面接映像確認
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100%　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	17
授業科目	一般教養
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	電卓の操作方法を学び、計算演習を行う
授業の進め方	電卓と電卓大会用問題を使用した技能演習
達成目標	数値演算を通じた、計数能力の向上
教科書	配布プリント・資料
特記	
授業計画	1 加減算演習１ 2 加減算演習２ 3 乗除算演習１ 4 乗除算演習２ 5 伝票算演習１ 6 伝票算演習２ 7 大会用問題演習１ 8 大会用問題演習２ 9 大会用問題演習３ 10 模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	18
授業科目	適性検査演習
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	３学期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	２０時間
授業コマ数	１０コマ
授業概要	就職試験の適性検査に合格するための基礎知識を学習する
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う
達成目標	就職試験の適性検査に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　国語１　語意 2　国語２　長文読解 3　数学１　式の計算・図形 4　数学２　文章題 5　英語１　基本熟語 6　英語２　基本文法 7　社会１　地理・政治 8　社会２　日本史・世界史 9　言語　基礎 10　模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	19
授業科目	就職活動対策
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１５０時間
授業コマ数	７５コマ
授業概要	就職活動における一連の流れを学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	就職活動における活動ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ
特記	
授業計画	1 仕事・会社選びの基礎知識１ 2 仕事・会社選びの基礎知識２ 3 仕事・会社選びの基礎知識３ 4 仕事・会社選びの基礎知識４ 5 求人票からの情報 6 求人票の見方・注意点１ 7 求人票の見方・注意点２ 8 会社四季報の見方 9 企業へのアクセス 10 情報サイトの登録及び使い方１ 11 情報サイトの登録及び使い方２ 12 応募書類の準備１ 13 応募書類の準備２ 14 エントリーシートの作成１ 15 エントリーシートの作成２ 16 エントリーシートの作成３ 17 就職活動におけるスケジュール管理とトラブル対応 18 説明会・選考試験１ 19 説明会・選考試験２ 20 説明会・選考試験３ 21 内定及び内定後のフォロー 22 面接試験のねらい 23 面接試験の心構え 24 就職活動を意識した身だしなみ 25 個別面接 26 集団面接 27 面接のプロセス 28 質問スタイル

授業計画	29	面接試験によく登場する質問１　自己ＰＲの内容から
	30	面接試験によく登場する質問２　志望動機の内容から
	31	面接試験によく登場する質問３　志望意欲の確認
	32	面接試験によく登場する質問４　進路決定の自主性確認
	33	面接試験によく登場する質問５　自己研鑽意欲の確認
	34	面接試験によく登場する質問６　私生活での生活館や創造性
	35	面接試験によく登場する質問７　社会の物事に関する興味関心
	36	面接試験によく登場する質問８　金銭感覚
	37	面接試験によく登場する質問９　人間関係への関心
	38	面接試験によく登場する質問１０　課題認識度
	39	面接試験によく登場する質問１１　条件許容度
	40	面接試験によく登場する質問１２　意識、野望チェック
	41	面接試験によく登場する質問１３　柔軟度の確認
	42	就職体験談の見方、書き方
	43	一般常識試験
	44	適性検査の種類と対策１
	45	適性検査の種類と対策２
	46	作文演習１　就職に関するテーマ
	47	作文演習２　学生生活に関するテーマ
	48	作文演習３　自分自身に関するテーマ
	49	作文演習４　時事に関するテーマ
	50	集団面接練習　傾向と対策
	51	集団面接実技１
	52	集団面接実技１　映像確認
	53	集団面接実技２
	54	集団面接実技２　映像確認
	55	個人面接実技１
	56	個人面接実技１　映像確認
	57	個人面接実技２
	58	個人面接実技２　映像確認
	59	言語対策基礎１
	60	言語対策基礎２
	61	言語対策基礎３
	62	言語対策基礎４
	63	言語対策基礎５
	64	言語対策基礎６
	65	非言語対策１
	66	非言語対策２
	67	非言語対策３
	68	非言語対策４
	69	非言語対策５
	70	非言語対策６
	71	就職活動実践１
	72	就職活動実践２
	73	就職活動実践３
	74	就職活動実践４
	75	就職活動実践５
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	20
授業科目	総合演習ＸＩ（官庁・企業研究）
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１５０時間
授業コマ数	７５コマ
授業概要	就職活動における職種理解・業界理解・企業研究に関する学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	業界研究・職種研究・企業研究ができるようになる
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 職種研究１ 2 職種研究２ 3 職種研究３ 4 職種研究４ 5 職種別研究１ 6 職種別研究２ 7 職種別研究３ 8 職種別研究４ 9 職種別研究５ 10 職種研究シート 11 業界研究１ 12 業界研究２ 13 業界研究３ 14 業界研究４ 15 業界研究５ 16 業界別研究１ 17 業界別研究２ 18 業界別研究３ 19 業界別研究４ 20 業界別研究５ 21 同業界の企業抽出１ 22 同業界の企業抽出２ 23 同業界の企業抽出３ 29 業界研究シート 24 企業研究１ 25 企業研究２ 26 企業研究３

授業計画	27	企業研究４
	28	企業研究５
	30	中間報告会
	31	企業別研究１
	32	企業別研究２
	33	企業別研究３
	34	企業別研究４
	35	企業別研究５
	36	企業比較１
	37	企業比較２
	38	企業発表１
	39	企業発表２
	40	グループディスカッション１　企業研究の情報交換会
	41	グループディスカッション２　企業研究の情報交換会
	42	グループディスカッション３　企業研究の情報交換会
	43	グループディスカッション４　まとめ１
	44	グループディスカッション５　まとめ２
	45	企業選択とエントリー１
	46	企業選択とエントリー２
	47	企業選択とエントリー３
	48	合同企業説明会参加１
	49	合同企業説明会参加２
	50	グループディスカッション６　説明会の情報交換会
	51	グループディスカッション７　説明会の情報交換会
	52	グループディスカッション８　まとめ３
	53	求人票の見方１
	54	求人票の見方２
	55	会社四季報の見方
	56	会社四季報研究１
	57	会社四季報研究２
	58	会社四季報研究３
	59	会社四季報研究４
	60	会社四季報研究５
	61	就職サイト検索１
	62	就職サイト検索２
	63	就職サイト検索３
	64	就職サイト検索４
	65	就職サイト検索５
	66	就職サイト検索６
	67	就職サイト検索７
	68	店舗見学１
	69	店舗見学２
	70	店舗見学３
	71	総合実践１
	72	総合実践２
	73	総合実践３
	74	総合実践４
	75	総合実践５
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100％　授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	21
授業科目	総合演習Ⅱ（漢字）
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身に付ける
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定2級に合格する
教科書	オリジナルテキスト・問題集・プリント
特記	
授業計画	1 漢字日々プリント１ 2 漢字日々プリント２ 3 漢字日々プリント３ 4 漢字日々プリント４ 5 漢字項目別問題１ 6 漢字項目別問題２ 7 漢字項目別問題３ 8 漢字項目別問題４ 9 漢字項目別問題５ 10 漢字直前模試１ 11 漢字直前模試２ 12 漢字直前模試３ 13 漢字直前模試４ 14 漢字直前模試５ 15 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	22
授業科目	オフィスWord基礎
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	４０時間
授業コマ数	２０コマ
授業概要	MOSWord試験に合格するための実践知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部実践的な問題演習
達成目標	MOSWord試験に合格するための実践知識を習得する
教科書	日経BP社　攻略問題集
特記	
授業計画	1　文書の書式を設定する 2　文書のオプションと表示をカスタマイズする 3　文字列や段落を挿入する 4　文字列や段落の書式を設定する 5　表を作成する 6　リストを作成する 7　参照のための情報や記号を作成する、管理する 8　標準の参考資料を作成する、管理する 9　グラフィック要素を挿入する 10　SmartArtを挿入する、書式を設定する 11　練習問題１（実習・解説） 12　練習問題２（実習・解説） 13　練習問題３（実習・解説） 14　練習問題４（実習・解説） 15　練習問題５（実習・解説） 16　模擬試験１（実習・解説） 17　模擬試験２（実習・解説） 18　模擬試験３（実習・解説） 19　模擬試験４（実習・解説） 20　模擬試験５（実習・解説）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	23
授業科目	マナー接遇基礎
実務家教員授業	授業担当者：大原学園教員
	実務経験及び授業との関連性：営業事務の経験を活かし、実務に必要な接遇の知識を身に付けるたけの授業を行う。
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	５０時間
授業コマ数	２５コマ
授業概要	接客に関する基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と実践的な実技演習
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 接遇の心構え 2 お茶の入れ方 3 お茶の出し方 4 接遇練習１ 5 接遇練習１　振り返り 6 お見送り、後片付け 7 接遇の流れ 8 接遇練習２ 9 接遇練習２　振り返り 10 接客販売の心得 11 キャラクターの演じ方 12 お客様の心理を理解する 13 接客における基本用語 14 店内接客練習１ 15 店内接客練習１　振り返り 16 状況別の店内接客 17 電話での問い合わせ 18 店内接客練習２ 19 店内接客練習２　振り返り 20 接遇練習３ 21 接遇練習３　振り返り 22 接遇練習４ 23 接遇練習４　振り返り 24 効果測定 25 効果測定　振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100%　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	24
授業科目	ビジネスコミュニケーション演習
実務家教員授業	授業担当者：大原学園教員
	実務経験及び授業との関連性：営業事務の経験を活かし、実務に必要な応対や言葉使いの知識を身に付けるための授業を行う。
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	実習
授業時間	５０時間
授業コマ数	２５コマ
授業概要	電話応対における基本的なスキルを学習する
授業の進め方	反復練習と効果測定による実践的な知識とスキルの習得
達成目標	効果測定における得点、８０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 電話応対の基本マナー 2 受け方の基本 3 受け方の実習１　取り次ぐ場合 4 受け方の実習２　不在の場合 5 受け方の実習３　職場内にいるが電話中の場合 6 受け方の実習４　伝言を受ける場合 7 道案内実習 8 かけ方の基本 9 かけ方の練習１　取り次いでもらえた場合 10 かけ方の練習２　取り次いでもらえなかった場合 11 かけ方の練習３　伝言を依頼する場合 12 状況別の応対方法１　間違い電話がかかってきた場合 13 状況別の応対方法２　自分で判断できない場合 14 状況別の応対方法３　相手の声が聞き取れない場合 15 状況別の応対方法４　途中で電話が切れてしまった場合 16 状況別の応対方法５　相手が名乗らない場合 17 状況別の応対方法６　相手の名前が聞き取れなかった場合 18 電話応対実習１ 19 電話応対実習１　振り返り 20 電話応対実習２ 21 電話応対実習２　振り返り 22 伝言の復唱 23 電話応対実習３ 24 電話応対実習３　振り返り 25 効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100％　実技による効果測定
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	25
授業科目	ビジネスマナー
実務家教員授業	授業担当者：大原学園教員
	実務経験及び授業との関連性：営業事務の経験を活かし、一般的なビジネスマナーの知識を身に付けるための授業を行う。
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	５０時間
授業コマ数	２５コマ
授業概要	社会人としての基本的なビジネスマナーを学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	模擬試験における得点、８０点以上を目標とする
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 郵便物と荷物の種類 2 郵便物の特殊取扱い 3 大型郵便物の発送方法 4 ファックス送信状の作成方法 5 慶事のマナー１（招待状・案内状の返信方法） 6 慶事のマナー２（祝電の送り方） 7 慶事のマナー３（服装） 8 慶事のマナー４（結婚式） 9 慶事のマナー５（披露宴） 10 弔事のマナー１（参列時） 11 弔事のマナー２（通夜、告別式の参列後） 12 弔事のマナー３（法要の基礎知識） 13 贈答のマナー 14 表書き・水引の知識 15 お見舞いのマナー 16 お返しのマナー 17 テーブルマナーとは 18 和食・洋食のマナー 19 立食パーティー 20 お酒の飲み方 21 職場でのＮＧ行動１（始業・身だしなみ・勤務態度） 22 職場でのＮＧ行動２（書類の取り扱い・情報セキュリティ） 23 ビジネスマナーの基本用語１ 24 ビジネスマナーの基本用語２ 25 模擬試験
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験100％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	26
授業科目	簿記論概論
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１１０時間
授業コマ数	５５コマ
授業概要	税理士試験簿記論の学習を始めるための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験簿記論の学習を始めるための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1　簿記の概要 2　現金 3　現金過不足 4　当座預金 5　当座借越 6　債権債務 7　手形・手形の割引・裏書き 8　商品売買１　三分法 9　商品売買２　売上原価計上法 10　商品売買３　分記法 11　商品売買４　総記法 12　商品売買５　原価率 13　商品売買６　利益率 14　商品売買７　返品 15　商品売買８　値引 16　商品売買９　割戻 17　売上の計上基準 18　仕入の計上基準 19　減価償却１　定額法 20　減価償却２　定率法 21　減価償却３　級数法 22　減価償却４　生産高比例法 23　固定資産１　除却 24　固定資産２　売却 25　固定資産３　買換 26　無形固定資産 27　ソフトウェア・取得原価の算定

授業計画	28	ソフトウェアの償却
	29	貸倒引当金
	30	貸倒損失
	31	給料
	32	賞与
	33	消費税等
	34	電子記録債権
	35	クレジット売掛金
	36	租税公課
	37	確認テスト
	38	確認テスト　解説
	39	伝票会計
	40	１伝票制
	41	３伝票制
	42	５伝票制
	43	純資産１　資本金、資本剰余金
	44	純資産２　利益剰余金
	45	売買目的有価証券
	46	満期保有目的の債券
	47	退職給付会計
	48	保険金の取り扱い
	49	見渡し小切手
	50	見取付小切手
	51	商品評価損
	52	商品棚卸減耗損
	53	まとめ問題
	54	模擬試験
	55	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	27
授業科目	財務諸表論概論
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１１０時間
授業コマ数	５５コマ
授業概要	税理士試験財務諸表論の学習を始めるための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験財務諸表論の学習を始めるための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表作成の基礎１ 2 財務諸表作成の基礎２ 3 財務諸表作成の基礎３ 4 現金及び預金 5 財務諸表論の基礎概念【理論】１ 6 債権債務 7 財務諸表論の基礎概念【理論】２ 8 棚卸資産１（売上原価の算定） 9 財務諸表論の基礎概念【理論】３ 10 棚卸資産２（返品、値引、割戻、割引） 11 一般原則【理論】１ 12 固定資産１（有形固定資産） 13 一般原則【理論】２ 14 固定資産２（無形固定資産） 15 一般原則【理論】３ 16 固定資産３（ソフトウェア） 17 一般原則【理論】４ 18 貸倒れ１ 19 損益計算総論【理論】１ 20 給料等 21 損益計算総論【理論】２ 22 退職給付会計 23 損益計算各論【理論】１ 24 その他の引当金 25 損益計算各論【理論】２ 26 確認テスト

授業計画	27	確認テスト　解説
	28	税金
	29	貸借対照表総論【理論】
	30	税効果会計(基本項目)
	31	資産総論【理論】
	32	有価証券１
	33	棚卸資産【理論】１
	34	有価証券２(その他有価証券)
	35	棚卸資産【理論】２
	36	社債
	37	固定資産【理論】１
	38	株主資本項目１(基本項目)
	39	固定資産【理論】２
	40	株主資本項目２（応用項目）
	41	固定資産【理論】３
	42	株主資本変動計算書
	43	繰延資産【理論】１
	44	現在価値計算
	45	繰延資産【理論】２
	46	固定資産４(資産除去債務)
	47	負債【理論】１
	48	固定資産５(減損会計)
	49	負債【理論】２
	50	貸倒れ２(キャッシュ・フロー見積法)
	51	負債【理論】３
	52	まとめ問題
	53	まとめ問題【理論】
	54	模擬試験
	55	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	28
授業科目	消費税法概論
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	３０時間
授業コマ数	１５コマ
授業概要	税理士試験消費税法の学習を始めるための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験消費税法の学習を始めるための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 消費税法の概要 2 課税の対象 3 非課税 4 輸出取引等 5 租税特別措置法における免税 6 資産の譲渡等の時期 7 控除対象仕入税額１ 8 売上げに係る対価の返還等 9 貸倒れが生じた場合 10 課税売上割合 11 控除対象仕入税額２ 12 仕入れに係る対価の返還等 13 納税義務の免除 14 模擬試験 15 模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	29
授業科目	法人税法概論
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１２０時間
授業コマ数	６０コマ
授業概要	税理士試験法人税法の学習を始めるための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験法人税法の学習を始めるための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス１ 2 ガイダンス２ 3 納税義務者の範囲１ 4 納税義務者の範囲２ 5 課税所得の範囲１ 6 課税所得の範囲２ 7 受取配当金の益金不算入１ 8 受取配当金の益金不算入２ 9 減価償却１ 10 減価償却２ 11 減価償却３ 12 減価償却４ 13 交際費等の損金不算入１ 14 交際費等の損金不算入２ 15 交際費等の損金不算入３ 16 寄付金の損金不算入４ 17 寄付金の損金不算入５ 18 寄付金の損金不算入６ 19 租税公課１ 20 租税公課２ 21 租税公課３ 22 納税充当金４ 23 納税充当金５ 24 納税充当金６ 25 収用等１ 26 収用等２

授業計画	27	貸倒損失１
	28	貸倒損失２
	29	貸倒損失３
	30	貸倒引当金
	31	貸倒引当金１
	32	貸倒引当金２
	33	欠損金１
	34	欠損金２
	35	欠損金３
	36	まとめ問題１
	37	まとめ問題２
	38	まとめ問題３
	39	有価証券１
	40	有価証券２
	41	有価証券３
	42	有価証券４
	43	外貨建取引１
	44	外貨建取引２
	45	外貨建取引３
	46	別表四の作成１
	47	別表四の作成２
	48	別表四の作成３
	49	法人税額の計算の基礎１
	50	法人税額の計算の基礎２
	51	法人税額の計算の基礎３
	52	使途秘匿金１
	53	使途秘匿金２
	54	使途秘匿金３
	55	所得税額控除１
	56	所得税額控除２
	57	所得税額控除３
	58	まとめ問題
	59	模擬試験
	60	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	30	
授業科目	相続税法概論	
実務家教員授業		
学部・学科	経理本科１年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	２学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	１２０時間	
授業コマ数	６０コマ	
授業概要	税理士試験相続税法の学習を始めるための基礎知識を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験相続税法の学習を始めるための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ガイダンス１
	2	ガイダンス２
	3	相続税法の概要１
	4	相続税法の概要２
	5	相続税と民法１
	6	相続税と民法２
	7	相続人１
	8	相続人２
	9	代襲相続１
	10	代襲相続２
	11	相続の承認
	12	相続の放棄
	13	相続分１
	14	相続分２
	15	遺言による財産の取得１
	16	遺言による財産の取得２
	17	特別養子制度
	18	相続税の納税義務者１
	19	相続税の納税義務者２
	20	特定納税義務者１
	21	特定納税義務者２
	22	権利義務の承継１
	23	権利義務の承継２
	24	財産の所在１
	25	財産の所在２
	26	生命保険金等１

授業計画	27	生命保険金等２
	28	生命保険金等３
	29	保険金１
	30	保険金２
	31	まとめ問題１
	32	まとめ問題２
	33	まとめ問題３
	34	理論ガイダンス
	35	相続税の納税義務者【理論】１
	36	相続税の納税義務者【理論】２
	37	贈与税の納税義務者【理論】１
	38	贈与税の納税義務者【理論】２
	39	生命保険金【理論】
	40	相続税の非課税資産【理論】
	41	低額譲受【理論】１
	42	低額譲受【理論】２
	43	債務免除【理論】
	44	信託に関する権利【理論】
	45	贈与税の非課税資産【理論】
	46	相続税の債務控除【理論】
	47	相続税法に定める財産評価【理論】
	48	未分割遺産に対する相続税の取り扱い【理論】
	49	相続税の総額【理論】
	50	遺産に係る基礎控除【理論】
	51	法定相続人の数【理論】
	52	相続税額の加算制度【理論】
	53	配偶者の相続税額の軽減【理論】
	54	未成年者控除【理論】
	55	障害者控除【理論】
	56	相次相続控除【理論】
	57	外国税額控除【理論】
	58	まとめ問題
	59	確認テスト
	60	確認テスト　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	31
授業科目	簿記論Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２２０時間
授業コマ数	１１０コマ
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 簿記の概要Ⅰ 2 現金 3 現金過不足 4 当座預金 5 当座借越 6 債権債務 7 手形・手形の割引・裏書き 8 電子記録債権・クレジット売掛金 9 商品売買１　三分法 10 商品売買２　売上原価計上法 11 商品売買３　分記法 12 商品売買４　総記法 13 商品売買５　原価率・利益率・返品・値引・割戻 14 仕入・売上の計上基準 15 減価償却 16 除却・売却・買換 17 無形固定資産 18 ソフトウェア 19 貸倒損失・貸倒引当金 20 給料・賞与 21 法人税等・租税公課 22 消費税等 23 確認テスト１ 24 確認テスト１　解説 25 資本金・資本準備金 26 自己株式・新株予約権

授業計画	27	退職給付会計簡便法
	28	償却原価法利息法・定額法
	29	社債の買入償還
	30	確認テスト２
	31	確認テスト２　解説
	32	退職給付会計原則法
	33	退職給付会計数理計算上の差異・過去勤務費用
	34	商品売買・売価還元法
	35	外貨建会計の基本的換算方法
	36	為替予約・振当処理・独立処理
	37	ヘッジ会計・ヘッジ取引
	38	ファイナンス・リース取引
	39	オペレーティング・リース取引
	40	試用販売１　対照勘定法
	41	試用販売２　手許商品区分法
	42	割賦販売１　回収基準
	43	割賦販売２　回収期限到来基準
	44	小口現金
	45	圧縮記帳１　直接減額方式
	46	圧縮記帳２　積立金方式
	47	本支店会計１
	48	本支店会計２
	49	本支店会計３
	50	本支店会計４
	51	資産除去債務
	52	未着品販売
	53	委託販売
	54	受託販売
	55	企業結合
	56	共通支配下の取引
	57	事業分離
	58	確認テスト３
	59	確認テスト３　解説
	60	連結会計１
	61	連結会計２
	62	連結会計３
	63	会計上の見積りの変更
	64	減価償却方法の変更
	65	過去の誤謬の訂正
	66	会計方針の変更
	67	製造業会計１
	68	製造業会計２
	69	研究開発費
	70	キャッシュ・フロー計算書(直接法)
	71	キャッシュ・フロー見積法
	72	市場販売のソフトウェア１
	73	市場販売のソフトウェア２
	74	市場販売のソフトウェア３
	75	有価証券の保有目的の変更
	76	新株予約権の取得者側の処理

授業計画	77	繰延資産
	78	減価償却
	79	土地再評価差額金
	80	連結会計・持分法
	81	商品売買・洗い替え法
	82	セール・アンド・リースバック取引
	83	リース料の先払い
	84	資産除去債務の税効果会計
	85	割賦販売の回収不能の取り扱い
	86	帳簿組織
	87	二重仕訳の削除
	88	キャッシュ・フロー計算書(間接法)
	89	減損会計・共用資産
	90	減損会計・のれん
	91	工事契約１　工事完成基準
	92	工事契約２　工事進行基準
	93	工事契約３　工事損失引当金
	94	受注制作のソフトウェア
	95	ストック・オプション
	96	外貨建転換社債型新株予約権
	97	伝票会計
	98	１伝票制
	99	３伝票制
	100	５伝票制
	101	在外支店
	102	会計方針の変更に係る税効果会計
	103	株式交換
	104	自社利用のソフトウェア
	105	損益の見越・繰り延べ
	106	商品有高帳
	107	金額推定(仕入・売上グループ)
	108	株主資本等変動計算書
	109	模擬試験
	110	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	32
授業科目	簿記論Ⅲ・Ⅳ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２４０時間
授業コマ数	１２０コマ
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 確認テスト４ 2 確認テスト４　解説 3 リース会計１　残価保証 4 リース会計２　中途解約 5 金利スワップ 6 ストック・オプション 7 連結会計・段階取得 8 連結税効果 9 商品売買１　小売棚卸法 10 社債・抽選償還 11 組織再編会計・段階取得 12 退職給付会計原則法 13 退職給付会計数理計算上の差異・過去勤務費用 14 商品売買２　売価還元法 15 外貨建会計の基本的換算方法 16 為替予約・振当処理・独立処理 17 ヘッジ会計・ヘッジ取引 18 ファイナンス・リース取引 19 オペレーティング・リース取引 20 試用販売１　対照勘定法 21 試用販売２　手許商品区分法 22 割賦販売１　回収基準 23 割賦販売２　回収期限到来基準 24 小口現金 25 圧縮記帳１　直接減額方式 26 圧縮記帳２　積立金方式

授業計画	27	本支店会計１
	28	本支店会計２
	29	本支店会計３
	30	本支店会計４
	31	資産除去債務
	32	未着品販売
	33	委託販売
	34	受託販売
	35	企業結合
	36	共通支配下の取引
	37	事業分離
	38	連結会計１
	39	連結会計２
	40	連結会計３
	41	会計上の見積りの変更
	42	減価償却方法の変更
	43	過去の誤謬の訂正
	44	会計方針の変更
	45	製造業会計１
	46	製造業会計２
	47	研究開発費
	48	キャッシュ・フロー計算書(直接法)
	49	キャッシュ・フロー見積法
	50	市場販売のソフトウェア１
	51	市場販売のソフトウェア２
	52	市場販売のソフトウェア３
	53	有価証券の保有目的の変更
	54	新株予約権の取得者側の処理
	55	繰延資産
	56～	過去試験問題集６０～６９
	76～	過去試験厳選問題１～１０
	96～	実力公開模擬試験１～４
	104～	直前対策模擬試験１～３
	110～	プレ模擬試験１～２
	114	ヤマ当て講義
	115～	全国公開統一模擬試験
	117～	直前予想公開模擬試験
	119	模擬試験
	120	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	33
授業科目	財務諸表論Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２２０時間
授業コマ数	１１０コマ
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務諸表作成の基礎１ 2 現金及び預金 3 債権債務 4 財務諸表論の基礎概念１【理論】 5 棚卸資産１(売上原価の算定) 6 棚卸資産２(返品、値引、割戻、割引) 7 一般原則【理論】 8 固定資産１(有形固定資産) 9 固定資産２(無形固定資産) 10 固定資産３(ソフトウェア) 11 一般原則【理論】 12 貸倒れ１ 13 損益計算総論【理論】１ 14 給料等 15 損益計算総論【理論】２ 16 退職給付会計１ 17 損益計算各論【理論】１ 18 その他の引当金 19 損益計算各論【理論】２ 20 確認テスト１ 21 確認テスト１　解説 22 税金１ 23 貸借対照表総論【理論】 24 税効果会計１(基本項目) 25 資産総論１【理論】 26 有価証券１

授業計画	27	棚卸資産【理論】１
	28	有価証券２(その他有価証券)
	29	棚卸資産【理論】２
	30	社債
	31	固定資産【理論】１
	32	確認テスト２
	33	確認テスト２　解説
	34	株主資本項目１(基本項目)
	35	固定資産【理論】２
	36	株主資本項目２(応用項目１)
	37	固定資産【理論】３
	38	株主資本変動計算書
	39	繰延資産【理論】１
	40	現在価値計算
	41	繰延資産【理論】２
	42	固定資産４(資産除去債務)
	43	負債１【理論】１
	44	固定資産５(減損会計)
	45	負債１【理論】２
	46	貸倒れ２(キャッシュ・フロー見積法)
	47	負債１【理論】３
	48	確認テスト３
	49	確認テスト３　解説
	50	外貨建取引１
	51	財務諸表論の基礎概念２【理論】１
	52	外貨建取引２
	53	財務諸表論の基礎概念２【理論】２
	54	固定資産６(圧縮記帳)
	55	損益計算論【理論】１
	56	繰延資産
	57	損益計算論【理論】２
	58	退職給付会計２
	59	資産総論２【理論】１
	60	税金２(消費税等)
	61	資産総論２【理論】２
	62	確認テスト４
	63	確認テスト４　解説
	64	棚卸資産３
	65	金融商品【理論】１
	66	外貨建取引３(外貨建有価証券)
	67	金融商品【理論】２
	68	固定資産７(リース会計)
	69	金融商品【理論】３
	70	金融商品応用項目１(証券投資信託・ゴルフ会員権)
	71	金融商品【理論】４
	72	確認テスト５
	73	確認テスト５　解説
	74	製造業会計
	75	収益性の低下【理論】１
	76	研究開発費

授業計画	77	収益性の低下【理論】２
	78	新株予約権・新株予約権付社債
	79	収益性の低下【理論】３
	80	キャッシュ・フロー計算書
	81	リース会計【理論】
	82	株主資本３(応用項目２)
	83	研究開発費等会計【理論】
	84	負債２【理論】１
	85	負債２【理論】２
	86	会計上の変更等１
	87	純資産会計【理論】１
	88	会計上の見積りの変更
	89	純資産会計【理論】２
	90	減価償却方法の変更
	91	分配可能額
	92	税効果会計３
	93	ストック・オプション会計【理論】
	94	連結会計
	95	税効果会計【理論】１
	96	連結会計
	97	退職給付会計３
	98	税効果会計【理論】２
	99	固定資産８(リース会計２)
	100	会計上の変更及び誤謬の訂正【理論】
	101	外貨建取引４
	102	財務諸表等規則に基づく財務諸表
	103	外貨換算会計【理論】
	104	共通支配下の取引
	105	株式交換
	106	企業結合会計・事業分離会計【理論】
	107	金利スワップ
	108	連結財務諸表【理論】
	109	模擬試験
	110	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	34	
授業科目	財務諸表論Ⅲ・Ⅳ	
実務家教員授業		
学部・学科	経理本科１年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	１学期	
科目区分	選択	
授業方法	講義	
授業時間	２４０時間	
授業コマ数	１２０コマ	
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	会計上の変更等１
	2	純資産会計【理論】１
	3	会計上の見積りの変更
	4	純資産会計【理論】２
	5	減価償却方法の変更
	6	純資産会計【理論】３
	7	分配可能額
	8	純資産会計【理論】４
	9	税効果会計３
	10	ストック・オプション会計【理論】１
	11	連結会計
	12	ストック・オプション会計【理論】２
	13	連結会計
	14	税効果会計【理論】１
	15	連結会計
	16	税効果会計【理論】２
	17	退職給付会計３
	18	税効果会計【理論】３
	19	固定資産８（リース会計２）
	20	会計上の変更及び誤謬の訂正【理論】１
	21	外貨建取引４
	22	会計上の変更及び誤謬の訂正【理論】２
	23	確認テスト４
	24	確認テスト４　解説
	25	財務諸表等規則に基づく財務諸表
	26	外貨換算会計【理論】１

授業計画	27	共通支配下の取引
	28	外貨換算会計【理論】２
	29	株式交換
	30	企業結合会計【理論】１
	31	金利スワップ
	32	企業結合会計【理論】２
	33	会計上の変更等２
	34	事業分離会計【理論】１
	35	投資不動産
	36	事業分離会計【理論】２
	37	敷金等
	38	連結財務諸表【理論】１
	39	固定資産９(収益的支出)
	40	連結財務諸表【理論】２
	41	固定資産１０(資本的支出)
	42	連結財務諸表【理論】３
	43	改正項目(消費税等)
	44	連結財務諸表【理論】４
	45	計算問題解答上のレクチャー１
	46	キャッシュ・フロー計算書【理論】１
	47	計算問題解答上のレクチャー２
	48	キャッシュ・フロー計算書【理論】２
	49	計算問題解答上のレクチャー３
	50	四半期財務諸表【理論】
	51	確認テスト５　解説
	52	確認テスト５　解説
	53	収益認識に関する会計基準【理論】１
	54	収益認識に関する会計基準【理論】２
	55	収益認識に関する会計基準【理論】３
	56	配分と評価
	57	収益認識(投資のリスクからの解放)
	58	資産及び負債の貸借対照表能力
	59	純利益と包括利益
	60	財務諸表論の基礎概念【理論】
	61	一般原則【理論】１
	62	一般原則【理論】２
	63	一般原則【理論】３
	64	損益計算書総論【理論】１
	65	損益計算書総論【理論】２
	66	損益計算書総論【理論】３
	67	損益計算書各論【理論】４
	68	損益計算書各論【理論】５
	69	損益計算書各論【理論】６
	70	貸借対照表論【理論】
	71	資産総論１【理論】１
	72	資産総論１【理論】２
	73	棚卸資産【理論】１
	74	棚卸資産【理論】２
	75	固定資産【理論】１
	76	固定資産【理論】２

授業計画	77	固定資産【理論】３
	78	繰延資産【理論】
	79	負債【理論】１
	80	負債【理論】２
	81	負債【理論】３
	82	財務諸表論の基礎概念【理論】１
	83	財務諸表論の基礎概念【理論】２
	84	損益計算緒論【理論】１
	85	損益計算緒論【理論】２
	86	資産総論２【理論】１
	87	資産総論２【理論】２
	88	金融商品【理論】
	89	収益性の低下【理論】
	90	リース会計【理論】
	91	純資産【理論】
	92	税効果会計【理論】
	93	企業結合・事業分離【理論】
	94	連結会計【理論】１
	95	連結会計【理論】２
	96～	実力公開模擬試験１～４
	104～	プレ模擬試験１～２
	108～	直前対策模擬試験１～３
	114	ヤマ当て講義
	115	全国統一公開模擬試験
	116	全国統一公開模擬試験　解説
	117	直前予想公開模擬試験
	118	直前予想公開模擬試験　解説
	119	模擬試験
	120	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％　出席点40点　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	35
授業科目	消費税法Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	３学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	６０時間
授業コマ数	３０コマ
授業概要	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 消費税法の概要 2 課税の対象 3 課税の対象【理論】 4 非課税 5 非課税【理論】 6 輸出取引等 7 輸出取引等【理論】 8 輸出物品販売場における免税【理論】 9 租税特別措置法における免税 10 資産の譲渡等の時期 11 国内取引の判定【理論】 12 控除対象仕入税額１ 13 仕入れに係る消費税額の控除【理論】 14 売上げに係る対価の返還等 15 貸倒れが生じた場合 16 売上げに係る対価の返還等【理論】 17 貸倒れが生じた場合【理論】 18 課税仕入れの範囲・課税仕入れ等の時期 19 課税売上割合(基礎編) 20 課税売上割合【理論】 21 控除対象仕入税額２ 22 課税売上割合に準ずる割合 23 仕入れに係る対価の返還等 24 仕入れに係る対価の返還等【理論】 25 納税義務の免除 26 納税義務の免除【理論】 27 確認テスト１ 28 確認テスト１　解説 29 模擬試験 30 模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	36
授業科目	消費税法Ⅲ・Ⅳ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１４０時間
授業コマ数	７０コマ
授業概要	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験消費税法に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 中間申告に係る納付税額【理論】 2 課税売上割合(応用) 3 課税仕入れ等の分類 4 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例 5 非課税資産の輸出等を行った場合の仕入税額控除の特例【理論】 6 調整対象固定資産に係る仕入税額控除の調整 7 調整対象固定資産の変動【理論】 8 調整対象固定資産の転用【理論】 9 まとめ問題１ 10 まとめ問題２ 11 まとめ問題３ 12 まとめ問題４ 13 まとめ問題５ 14 まとめ問題６ 15 確認テスト２ 16 確認テスト２　解説 17 特定期間における課税売上高による納税義務の免除の特例 18 特定期間における課税売上高による納税義務の免除の特例【理論】 19 相続があった場合の納税義務の免除の特例 20 相続があった場合の納税義務の免除の特例【理論】 21 合併があった場合の納税義務の免除の特例 22 合併があった場合の納税義務の免除の特例【理論】 23 会社分割などがあった場合の納税義務の免除の特例 24 会社分割などがあった場合の納税義務の免除の特例【理論】 25 新設法人の納税義務の免除の特例 26 新設法人の納税義務の免除の特例【理論】

授業計画	27	特定新規設立法人の納税義務の免除特例
	28	特定新規設立法人の納税義務の免除特例【理論】
	29	合併があった場合の中間申告
	30	合併があった場合の中間申告【理論】
	31	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整
	32	棚卸資産に係る仕入税額控除の調整【理論】
	33	課税標準
	34	課税標準【理論】
	35	まとめ問題１
	36	まとめ問題２
	37	まとめ問題３
	38	まとめ問題４
	39	確認テスト３
	40	確認テスト３　解説
	41	簡易課税制度１
	42	簡易課税制度２
	43	簡易課税制度３
	44	簡易課税制度【理論】１
	45	簡易課税制度【理論】２
	46	新設法人が調整対象固定資産の仕入れ等を行った場合の納税義務の免除１
	47	新設法人が調整対象固定資産の仕入れ等を行った場合の納税義務の免除２
	48	特定新設法人が調整対象固定資産の仕入等を行った場合の納税義務の免除１
	49	特定新設法人が調整対象固定資産の仕入等を行った場合の納税義務の免除２
	50	高額特定資産を取得した場合の納税義務の免除の特例
	51	高額特定資産を取得した場合の納税義務の免除の特例【理論】
	52	納税義務の免除特例【理論】１
	53	納税義務の免除特例【理論】２
	54	納税義務の免除特例【理論】３
	55	納税義務の免除特例【理論】４
	56	納税義務の免除特例【理論】５
	57	納税義務の免除特例【理論】６
	58	納税義務の免除特例【理論】７
	59	納税義務の免除特例【理論】８
	60	納税義務の免除特例【理論】９
	61	旧税率に関する特例
	62	旧税率に関する特例【理論】
	63	国等に対する特例
	64	国等に対する特例【理論】
	65	軽減税率
	66	軽減税率【理論】
	67	確認テスト４
	68	確認テスト４　解説
	69	模擬試験
	70	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	37
授業科目	法人税法Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	３学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２４０時間
授業コマ数	１２０コマ
授業概要	税理士試験法人税法に合格するための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験法人税法に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 保険差益１ 2 保険差益２ 3 交換差益１ 4 交換差益２ 5 収用等１ 6 収用等２ 7 特定資産の買い換え 8 欠損金１ 9 欠損金２ 10 リース資産１ 11 リース資産２ 12 資本等取引１ 13 資本等取引２ 14 別表五の作成１ 15 別表五の作成２ 16 別表五の作成３ 17 別表五の作成４ 18 別表五の作成５ 19 別表五の作成６ 20 外国税額控除１ 21 外国税額控除２ 22 外国子会社配当等の益金不算入１ 23 外国子会社配当等の益金不算入２ 24 リース譲渡に係る収益及び費用の帰属事業年度の特例【理論】１ 25 リース譲渡に係る収益及び費用の帰属事業年度の特例【理論】２ 26 配当等の額とみなす金額【理論】

授業計画	27	外国子会社から受ける配当等の益金不算入【理論】１
	28	外国子会社から受ける配当等の益金不算入【理論】２
	29	同族会社の意義【理論】
	30	役員の意義【理論】
	31	使用人兼務役員の意義【理論】
	32	役員給与の損金不算入【理論】
	33	使用人給与の損金不算入【理論】
	34	使用人賞与の損金算入時期【理論】
	35	寄付金の損金不算入【理論】１
	36	寄付金の損金不算入【理論】２
	37	交際費等の課税の特例【理論】１
	38	交際費等の課税の特例【理論】２
	39	租税公課等の取り扱い【理論】１
	40	租税公課等の取り扱い【理論】２
	41	不正行為に係る費用の取り扱い１
	42	不正行為に係る費用の取り扱い２
	43	確認テスト３
	44	確認テスト３　解説
	45	ガイダンス
	46	受取配当等の益金不算入
	47	みなし配当金
	48	資産の評価損益１
	49	資産の評価損益２
	50	寄付金の損金不算入１
	51	寄付金の損金不算入２
	52	租税公課等の取り扱い１
	53	租税公課等の取り扱い２
	54	納税充当金１
	55	納税充当金２
	56	収用等１
	57	収用等２
	58	欠損金１
	59	欠損金２
	60	有価証券１
	61	有価証券２
	62	帰属事業年度の特例１
	63	帰属事業年度の特例２
	64	組織再編１
	65	組織再編２
	66	組織再編３
	67	設立事業年度１
	68	設立事業年度２
	69	確定決算型１
	70	確定決算型２
	71	外貨建取引の換算【理論】
	72	換算方法【理論】
	73	換算差損益の取り扱い【理論】
	74	デリバティブ取引【理論】
	75	現物決済【理論】
	76	繰延ヘッジ【理論】

授業計画	77	時価ヘッジ【理論】
	78	国庫補助金等に対する課税の特例【理論】
	79	保険差益の額に対する課税の特例【理論】
	80	換差益金の圧縮記帳【理論】
	81	収用等の場合の圧縮記帳【理論】
	82	換地処分等の圧縮記帳【理論】
	83	収用交換地等の所得の特別控除【理論】
	84	特定資産の買換えの場合【理論】
	85	青色欠損金の繰越控除及び繰戻し還付【理論】
	86	災害損失金の繰越控除【理論】
	87	債務免除があった場合の欠損金の損金算入【理論】
	88	欠損等法人の取り扱い【理論】
	89	残余財産が確定した場合の欠損金の取り扱い【理論】
	90	合併があった場合【理論】
	91	分割型分割があった場合【理論】
	92	分社型分割があった場合【理論】
	93	現物出資があった場合【理論】
	94	適格組織再編があった場合【理論】
	95	資産等に係る調整勘定の取り扱い【理論】
	96	株式交換等があった場合【理論】
	97	株式分配があった場合【理論】
	98	グループ法人税制【理論】
	99	確認テスト４
	100	確認テスト４　解説
	101	借地権
	102	地方法人税
	103	試験研究費の特別控除
	104	組織再編税制
	105	連結納税
	106	資産除去債務
	107	所得金額の計算
	108	適用除外事業者
	109	連結納税制度【理論】
	110	各連結事業年度の連結所得金額の計算方法【理論】
	111	連結中間申告【理論】
	112	連結確定申告【理論】
	113	連結納税の開始【理論】
	114	連結欠損金の繰越控除【理論】
	115	完全支配関係がある法人間取引の損益調整【理論】
	116	適格現物分配があった場合の主な取り扱い【理論】
	117	確定申告【理論】
	118	中間申告【理論】
	119	模擬試験
	120	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	38
授業科目	法人税法Ⅲ・Ⅳ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２４０時間
授業コマ数	１２０コマ
授業概要	税理士試験法人税法に合格するための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験法人税法に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 納税義務者の範囲１ 3 納税義務者の範囲２ 4 課税所得の範囲１ 5 課税所得の範囲２ 6 受取配当金の益金不算入１ 7 受取配当金の益金不算入２ 8 減価償却１ 9 減価償却２ 10 減価償却３ 11 減価償却４ 12 交際費等の損金不算入１ 13 交際費等の損金不算入２ 14 交際費等の損金不算入３ 15 寄付金の損金不算入１ 16 寄付金の損金不算入２ 17 寄付金の損金不算入３ 18 租税公課１ 19 租税公課２ 20 租税公課３ 21 納税充当金１ 22 納税充当金２ 23 納税充当金３ 24 収用等１ 25 収用等２ 26 貸倒損失１

授業計画	27	貸倒損失２
	28	貸倒損失３
	29	貸倒引当金１
	30	貸倒引当金２
	31	貸倒引当金３
	32	欠損金１
	33	欠損金２
	34	欠損金３
	35	まとめ問題
	36	納税義務者【理論】
	37	課税所得の範囲【理論】
	38	税率【理論】
	39	事業年度【理論】
	40	納税地【理論】
	41	資本金等の額【理論】
	42	利益積立金額【理論】
	43	所得の帰属に関する通則【理論】
	44	各事業年度の所得の金額の計算方法【理論】
	45	収益の額【理論】１
	46	収益の額【理論】２
	47	受取配当金の益金不算入額【理論】１
	48	受取配当金の益金不算入額【理論】２
	49	確認テスト１
	50	確認テスト１　解説
	51	有価証券１
	52	有価証券２
	53	有価証券３
	54	有価証券４
	55	外貨建取引１
	56	外貨建取引２
	57	外貨建取引３
	58	別表四の作成１
	59	別表四の作成２
	60	別表四の作成３
	61	法人税額の計算の基礎１
	62	法人税額の計算の基礎２
	63	法人税額の計算の基礎３
	64	使途秘匿金１
	65	使途秘匿金２
	66	使途秘匿金３
	67	所得税額控除１
	68	所得税額控除２
	69	所得税額控除３
	70	まとめ問題
	71	有価証券の譲渡損益及び算出方法【理論】１
	72	有価証券の譲渡損益及び算出方法【理論】２
	73	有価証券の期末評価【理論】
	74	売買目的有価証券の意義【理論】１
	75	売買目的有価証券の意義【理論】２
	76	有価証券の意義【理論】１

授業計画	77	有価証券の意義【理論】２
	78	有価証券の意義【理論】３
	79	有価証券の取得価額【理論】１
	80	有価証券の取得価額【理論】２
	81	有価証券の取得価額【理論】３
	82	確認テスト２
	83	確認テスト２　解説
	84	受取配当等の益金不算入
	85	外国子会社から受ける配当等の益金不算入
	86	みなし配当
	87	減価償却１
	88	減価償却２
	89	減価償却３
	90	繰延資産１
	91	繰延資産２
	92	役員判定１
	93	役員判定２
	94	役員給与１
	95	役員給与２
	96	使用人給与１
	97	使用人給与２
	98	交際費等の損金不算入１
	99	交際費等の損金不算入２
	100	寄付金の損金不算入１
	101	寄付金の損金不算入２
	102	圧縮記帳の概要１
	103	圧縮記帳の概要２
	104	国庫補助金等
	105	保険差益
	106	減価償却資産の償却計算
	107	減価償却資産の償却方法
	108	減価償却資産の意義
	109	減価償却資産の取得価額
	110	少額の減価償却資産
	111	一括償却資産
	112	中小企業車等の特例
	113	特別償却１
	114	特別償却２
	115	特別償却準備金
	116	繰延資産３
	117	繰延資産の意義
	118	繰延資産の償却計算
	119	模擬試験
	120	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	39
授業科目	相続税法Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２４０時間
授業コマ数	１２０コマ
授業概要	税理士試験相続税法に合格するための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験相続税法に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 純農地 2 中間農地 3 市街地周辺農地 4 市街地農地 5 平坦地 6 純山林 7 中間山林 8 市街地山林 9 立木 10 立木の評価減 11 自家用家屋 12 貸家 13 建築中の家屋 14 利用区分が異なる建物 15 増改築があった場合 16 構築物 17 一般動産 18 棚卸資産 19 書画骨董品 20 預貯金 21 貸付金債権 22 受取手形等 23 利付公社債 24 割引発行の公社債 25 証券投資信託受益証券 26 ゴルフ会員権

授業計画	27	不動産投資信託
	28	上場株式
	29	権利に関する権利
	30	確認テスト３
	31	確認テスト３　解説
	32	応用理論・みなし取得財産１
	33	応用理論・みなし取得財産２
	34	応用理論・みなし取得財産３
	35	応用理論・みなし取得財産４
	36	応用理論・みなし取得財産５
	37	応用理論・みなし取得財産６
	38	応用理論・みなし取得財産７
	39	応用理論・みなし取得財産８
	40	応用理論・対象者１
	41	応用理論・対象者２
	42	応用理論・対象者３
	43	応用理論・対象者４
	44	応用理論・対象者５
	45	応用理論・対象者６
	46	応用理論・対象者７
	47	応用理論・対象者８
	48	応用理論・対象者９
	49	応用理論・対象者１０
	50	応用理論・対象者１１
	51	応用理論・不動産１
	52	応用理論・不動産２
	53	応用理論・不動産３
	54	応用理論・不動産４
	55	応用理論・不動産５
	56	応用理論・不動産６
	57	応用理論・不動産７
	58	応用理論・不動産８
	59	応用理論・不動産９
	60	確認テスト４
	61	確認テスト４　解説
	62	取引相場のない株式
	63	評価方式・原則的評価方式
	64	特例的評価方式
	65	評価方法の判定
	66	類似業種比準価額
	67	評価会社の比準要素の判定
	68	類似業種の選択方法
	69	純資産価額の算定方法
	70	純資産価額計算上の資産及び負債の判定方法
	71	評価会社が退職手当金等を取得した場合
	72	同族会社が有する取引相場のない株式の純資産価額の計算
	73	評価会社が生命保険金等を取得した場合
	74	同族会社に対して土地を相当の地代により貸し付けている場合
	75	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合
	76	評価会社が課税時期において仮決算を行っていない場合

授業計画	77	配当還元価額の算定方法
	78	その株式に係る年配当金額の算定方法
	79	類似業種比重価額の修正
	80	配当期待権が発生している株式の価額の修正
	81	評価会社が自己株式を保有している場合
	82	法人株主がある場合の評価方法の判定
	83	特定の評価会社の株式
	84	小規模宅地等の減額
	85	特例対象宅地等
	86	特定事業用宅地等
	87	特定居住用宅地等
	88	貸付事業用宅地等
	89	特定計画山林の減額
	90	確認テスト５
	91	確認テスト５　解説
	92	応用理論・課税価格１
	93	応用理論・課税価格２
	94	応用理論・課税価格３
	95	応用理論・税額計算１
	96	応用理論・税額計算２
	97	応用理論・税額計算３
	98	応用理論・相続時精算課税１
	99	応用理論・相続時精算課税２
	100	応用理論・相続時精算課税３
	101	応用理論・相続時精算課税４
	102	応用理論・贈与税１
	103	応用理論・贈与税２
	104	応用理論・贈与税３
	105	応用理論・相続税１
	106	応用理論・相続税２
	107	応用理論・相続税３
	108	応用理論・申告１
	109	応用理論・申告２
	110	応用理論・申告３
	111	応用理論・申告４
	112	応用理論・申告５
	113	応用理論・申告６
	114	応用理論・納付１
	115	応用理論・納付２
	116	応用理論・納付３
	117	応用理論・納付４
	118	応用理論・納付５
	119	模擬試験
	120	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	40
授業科目	相続税法Ⅲ・Ⅳ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	３学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	２４０時間
授業コマ数	１２０コマ
授業概要	税理士試験相続税法に合格するための基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験相続税法に合格するための基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 ガイダンス 2 退職手当 3 慰労金 4 退職手当均等の非課税金額 5 生命保険契約に関する権利１ 6 生命保険契約に関する権利２ 7 定期金に関する権利 8 保証期間付定期金に関する権利 9 契約にもとづかない定期金 10 贈与税が課税されている場合 11 負担付遺贈・贈与 12 相続税が課税される場合 13 相続税の非課税財産 14 措置70の非課税 15 相続時精算課税適用資産 16 債務控除 17 特定納税義務者の債務控除 18 生前贈与加算 19 相続税額の計算方法 20 相続税の総額 21 算出相続税額の計算 22 法定相続人の数 23 本来の財産 24 相続税額の加算 25 贈与税額控除 26 配偶者の税額軽減

授業計画	27	未成年者控除
	28	障害者控除
	29	相次相続控除
	30	相続税の外国税額控除
	31	相続税精算課税制度【理論】
	32	相続税精算課税制度に係る相続税の納付義務の承継【理論】
	33	特例経営承継受贈者・特例事業受贈者【理論】
	34	相続税の期限内申告【理論】
	35	贈与税の期限内申告【理論】
	36	相続税法の納税地【理論】
	37	期限後申告【理論】
	38	修正申告【理論】
	39	更正の請求【理論】
	40	還付を受けるための申告及び還付【理論】
	41	確認テスト１
	42	確認テスト１　解説
	43	贈与税の概要
	44	贈与税の納税義務者
	45	相続時精算課税制度の概要
	46	贈与税額の計算
	47	贈与税の非課税財産
	48	贈与税の配偶者控除
	49	贈与税の外国税額控除
	50	農地等の相続税の納税猶予
	51	非上場株式等の贈与税の納税猶予の特例１
	52	非上場株式等の相続税の納税猶予の特例２
	53	個人の事業用資産の贈与税の納税猶予１
	54	個人の事業用資産の相続税の納税猶予２
	55	延納【理論】１
	56	延納【理論】２
	57	物納の要件等【理論】１
	58	物納の要件等【理論】２
	59	連帯納付【理論】１
	60	連帯納付【理論】２
	61	農地等の相続税の納税猶予及び免除【理論】１
	62	農地等の相続税の納税猶予及び免除【理論】２
	63	農地等の贈与税の納税猶予及び免除【理論】１
	64	農地等の贈与税の納税猶予及び免除【理論】２
	65	個人の事業用資産の贈与税納税猶予及び免除【理論】１
	66	個人の事業用資産の贈与税納税猶予及び免除【理論】２
	67	個人の事業用資産の相続税納税猶予及び免除【理論】１
	68	個人の事業用資産の相続税納税猶予及び免除【理論】２
	69	山林の相続税の納税猶予及び免除【理論】１
	70	山林の相続税の納税猶予及び免除【理論】２
	71	非上場株式の贈与税納税猶予及び免除【理論】１
	72	非上場株式の贈与税納税猶予及び免除【理論】２
	73	非上場株式の相続税納税猶予及び免除【理論】１
	74	非上場株式の相続税納税猶予及び免除【理論】２
	75	まとめ問題１
	76	まとめ問題２

授業計画	77	まとめ問題３
	78	まとめ問題４
	79	確認テスト２
	80	確認テスト２　解説
	81	評価の原則
	82	邦貨換算
	83	自用地
	84	宅地等の評価単位
	85	地区区分の異なる宅地
	86	不整形地
	87	地積規模の大きな宅地
	88	無道路地
	89	角切り宅地の間口距離
	90	がけ地等を有する宅地
	91	土砂災害特別警戒区域内にある宅地
	92	容積率の異なる宅地
	93	私道の用に供されている宅地
	94	セットバックを必要とする宅地
	95	都市計画道路予定地の区域内にある宅地
	96	普通借地権
	97	貸宅地
	98	貸家建付地
	99	貸家建付借地権
	100	使用賃借により借り受けた宅地等
	101	使用賃借により貸し付けられた宅地等
	102	利用区分が異なる建物の敷地の用に供されている宅地等
	103	相当の地代を受け取っている場合の貸宅地
	104	相当の地代を支払っている場合の貸宅地
	105	土地の無償返還に関する届出書が提出されている場合の宅地
	106	定期借地権等
	107	定期借地権等の目的となっている宅地
	108	貸宅地
	109	応用理論ガイダンス１
	110	応用理論ガイダンス２
	111	応用理論・納税義務者(相続税) １
	112	応用理論・納税義務者(相続税) ２
	113	応用理論・納税義務者(相続税) ３
	114	応用理論・納税義務者(相続税) ４
	115	応用理論・納税義務者(贈与税) １
	116	応用理論・納税義務者(贈与税) ２
	117	応用理論・納税義務者(贈与税) ３
	118	応用理論・納税義務者(贈与税) ４
	119	模擬試験
	120	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	41	
授業科目	簿記論総合演習Ⅰ・Ⅱ	
実務家教員授業		
学部・学科	経理本科１年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	１学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	２４０時間	
授業コマ数	１２０コマ	
授業概要	税理士試験簿記論に合格するための模擬試験を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	税理士試験簿記論に合格するための模擬試験で合格点を取る	
教科書	直前対策模擬試験　プレ模擬試験　全国統一公開模擬試験	
特記		
授業計画	1～19	総合計算問題集基礎編１～１８
	19～37	総合計算問題集応用編１～１８
	37～53	項目別答練１～１６
	53～63	過去試験問題集６０～６９
	63～73	過去試験厳選問題１～１０
	73～85	過去実力公開模擬試験１～4
	85～97	過去直前対策模擬試験１～4
	97～109	過去プレ模擬試験１～4
	109～113	過去全国公開統一模擬試験１～２
	113～119	過去直前予想公開模擬試験１～２
	119	模擬試験
	120	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	42
授業科目	財務諸表論総合演習Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	２４０時間
授業コマ数	１２０コマ
授業概要	税理士試験財務諸表論に合格するための模擬試験を行う
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験財務諸表論に合格するための模擬試験で合格点を取る
教科書	直前対策模擬試験　プレ模擬試験　全国統一公開模擬試験
特記	
授業計画	1～　総合計算問題集基礎編１～１０ 11～　総合計算問題集応用編１～１０ 21～　理論問題集１～２６ 47～　理論問題集(会計基準穴埋め問題)１～１０ 57～　過去試験問題集５４～６９ 73～　過去実力公開模擬試験１～４ 85～　過去直前対策模擬試験１～４ 97～　過去プレ模擬試験１～４ 109～　過去全国公開統一模擬試験１～２ 113～　過去直前予想公開模擬試験１～２ 119　模擬試験 120　模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	43
授業科目	消費税法総合演習Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	１４０時間
授業コマ数	７０コマ
授業概要	税理士試験消費税法に合格するための模擬試験を行う
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験消費税法に合格するための模擬試験で合格点を取る
教科書	直前対策模擬試験　プレ模擬試験　全国統一公開模擬試験
特記	
授業計画	1～ 理論問題集複合１～１０ 11～ 理論問題集取引１～１５ 26～ 過去試験問題６３～６９ 40～ 実力公開模擬試験１～８ 56～ 直前対策模擬試験１～２ 60～ 本科直前対策模擬試験１～２ 64 ヤマ当て講義 65～ 全国統一公開模擬試験１～２ 69 模擬試験 70 模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	44
授業科目	法人税法総合演習Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	２４０時間
授業コマ数	１２０コマ
授業概要	税理士試験法人税に合格するための模擬試験を行う
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験法人税に合格するための模擬試験で合格点を取る
教科書	直前対策模擬試験　プレ模擬試験　全国統一公開模擬試験
特記	
授業計画	1～ 総合計算問題集１～１０ 11～ 実力判定公開模擬試験１～４ 19～ 理論問題集１～３０ 49～ 直前対策模擬試験１～４ 57～ プレ模擬試験１～２ 61～ 過去実力公開模擬試験１～１２ 73～ 過去直前対策模擬試験１～１２ 85～ 過去プレ模擬試験１～８ 93～ 全国統一公開模擬試験 95～ 直前予想公開模擬試験１～２ 99～ 過去全国統一公開模擬試験 104～ 過去直前予想公開模擬試験１～２ 114～ 総まとめ問題集１～５ 119 模擬試験 120 模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定例試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	45
授業科目	相続税法総合演習Ⅰ・Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	演習
授業時間	２４０時間
授業コマ数	１２０コマ
授業概要	税理士試験相続税法に合格するための模擬試験を行う
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	税理士試験相続税法に合格するための模擬試験で合格点を取る
教科書	直前対策模擬試験　プレ模擬試験　全国統一公開模擬試験
特記	
授業計画	1～　総合計算問題集基礎１～６ 7～　総合計算問題集応用１～６ 13～　実力判定公開模擬試験１～４ 21～　財産評価問題集１～２８ 49～　直前対策模擬試験１～４ 57～　プレ模擬試験１～２ 61～　過去実力公開模擬試験１～１２ 73～　過去直前対策模擬試験１～１２ 85～　過去プレ模擬試験１～８ 93～　全国統一公開模擬試験 95～　直前予想公開模擬試験１～２ 99～　過去全国統一公開模擬試験 104～　過去直前予想公開模擬試験１～２ 114～　総まとめ問題集１～５ 119　模擬試験 120　模擬試験　解説
成績評価方法 （試験実施方法）	定例試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	46
授業科目	公認会計士　租税法基礎
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	２学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１００時間
授業コマ数	５０コマ
授業概要	公認会計士論文式試験合格のために必要な租税法の基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士論文式試験合格のために必要な租税法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 法人税法総則・課税標準 2 交際費等の損金不算入 3 減価償却（普通償却） 4 租税公課の及び納税充当金 5 受取配当等の益金不算入 6 繰延資産 7 金銭債務に係る債務者の償還咳又は償還差損の益金又は損金算入 8 有価証券 9 所得税額控除 10 寄付金の損金不算入 11 減価償却（特別償却） 12 特別償却準備金 13 リース取引 14 評価損益 15 法人税法額の計算の基礎 16 使途秘匿金 17 外国税額控除 18 貸倒損失 19 欠損金の繰越控除・繰戻し還付 20 収用等の特別控除 21 圧縮記帳 22 同族会社の判定 23 役員・使用人兼務役員の判定 24 役員給与 25 使用人給与 26 外国子会社から受ける配当等の益金不算入

授業計画	27	みなし配当
	28	帰属事業年度の特例
	29	税効果会計
	30	外貨建取引
	31	保険料
	32	グループ法人税制
	33	修正申告
	34	所得税法の概要
	35	各種所得と各種所得の金額の計算
	36	事業所得の金額の計算
	37	譲渡所得の金額の計算
	38	課税標準・課税所得金額の計算
	39	所得控除額の計算
	40	納付税額の計算
	41	申請・納付
	42	源泉徴収
	43	有価証券に係る課税の特例
	44	消費税法の概要
	45	課税の対象
	46	非課税
	47	輸出免税等
	48	課税標準
	49	模擬試験
	50	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	47
授業科目	公認会計士　財務諸表論上級
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	５０時間
授業コマ数	２５コマ
授業概要	公認会計士短答式試験合格のために必要な財務会計論の基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士短答式試験合格のために必要な財務会計論の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務会計の意義 2 財務会計の機能 3 企業会計制度 4 会計制度 5 会計基準 6 企業会計原則の一般原則 7 会計公準 8 会計主体論 9 利益概念 10 概念フレームワーク 11 収益と費用の分類 12 損益計算の原則 13 収益と費用の認識と測定 14 資産と負債の分類 15 資産の評価 16 棚卸資産の範囲 17 棚卸資産の取得原価の決定 18 棚卸資産の払出数量の計算 19 棚卸資産の払出単価の計算 20 固定資産総論 21 有形固定資産 22 無形固定資産 23 投資その他の資産 24 模擬試験 25 模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	48
授業科目	公認会計士　管理会計論上級
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	５０時間
授業コマ数	２５コマ
授業概要	公認会計士試験合格のための管理会計論の基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士試験合格のための管理会計論の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 財務会計と管理会計 2 管理会計の意義と目的 3 財務情報分析の意義と種類 4 収益性分析 5 安全性分析 6 キャッシュ・フロー分析 7 短期利益計画の基礎 8 CVP分析 9 原価態様 10 原価分解の方法 11 直接原価計算の基礎 12 直接実際原価計算 13 直接標準原価計算 14 直接原価計算に関する諸論点 15 予算管理の基礎 16 予算編成 17 予算統制 18 予算管理の諸論点 19 資金管理の基礎 20 現金資金の管理 21 資金計算書 22 キャッシュ・フロー管理 23 意思決定会計総論 24 模擬試験 25 模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	49
授業科目	公認会計士　租税法基礎Ⅱ
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	１学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	１００時間
授業コマ数	５０コマ
授業概要	公認会計士論文式試験に合格するために必要な租税法の基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士論文式試験に合格するために必要な租税法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 法人税法総則・課税標準 2 交際費等の損金不算入 3 減価償却（普通償却） 4 租税公課及び納税充当金 5 受取配当金の益金不算入 6 繰延資産 7 金銭債務に係る債務者の償還差益または償還差損の益金また損金算入 8 有価証券 9 所得全額控除 10 寄付金の損金不算入 11 原価償却（特別償却） 12 特別償却準備金 13 リース取引 14 評価損益 15 法人税額の計算の基礎 16 使途秘匿金 17 外国税額控除 18 貸倒損失 19 欠損金の繰越控除・繰戻し還付 20 収用等の特別控除 21 圧縮記帳 22 同族会社の判定 23 役員・使用人兼務役員の判定 24 役員給与 25 使用人給与 26 外国子会社から受ける配当等の益金不算入 27 みなし配当 28 帰属事業年度の特例

授業計画	29	税効果会計
	30	外貨建取引
	31	保険料
	32	グループ法人税制
	33	修正申告
	34	所得税法の概要
	35	各種所得と各種所得の金額の計算
	36	事業所得の金額の計算
	37	譲渡所得の金額の計算
	38	課税標準・課税所得金額の計算
	39	所得控除額の計算
	40	納付税額の計算
	41	申告・納付
	42	源泉徴収
	43	有価証券にかかる課税の特例
	44	消費税法の概要
	45	課税の対象
	46	非課税
	47	輸出免税等
	48	課税標準
	49	模擬試験
	50	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	50
授業科目	公認会計士　証券取引法上級
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	３学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	５０時間
授業コマ数	２５コマ
授業概要	公認会計士論文式試験合格のために必要な企業法の基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士論文式試験合格のために必要な企業法の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 株式の意義等 2 株主の権利・義務 3 株主平等原則 4 株式の譲渡 5 株式譲渡自由の原則 6 株式譲渡自由の制限 7 自己株式の取得・処分等の制限 8 自己株式取得規制の概要 9 子会社による親会社株式取得 10 適法に取得した親会社株式の法的地位 11 株券 12 株券不所持制度 13 株式譲渡の効力発生要件、対抗要件 14 株券の資格授与的効力 15 株券の善意取得 16 株券喪失登録制度 17 株主名簿 18 所在不明株主の株式売却制度 19 名義書換制度 20 株式担保 21 株式振替制度 22 株式併合・株式分割・株式無償割当て・株式の消却 23 端数の処理 24 模擬試験 25 模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	51
授業科目	公認会計士　監査論上級
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	３学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	５０時間
授業コマ数	２５コマ
授業概要	公認会計士短答式試験合格のために必要な監査論の基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士短答式試験合格のために必要な監査論の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 監査意見に関する基礎概念 2 監査報告書の記載 3 個別財務諸表の監査意見と連結財務諸表の監査意見 4 追記情報 5 比較情報 6 継続企業の前提と経営者の責任 7 継続企業の前提に対する監査人の対応 8 中間監査総論 9 中間監査の実施及び報告 10 四半期レビュー 11 特別目的の財務諸表等の監査 12 個別の財務表等の監査 13 内部統括報告制度 14 内部統括報告制度における経営者・監査人の対応 15 会社法会計監査人監査 16 金融商品取引法 17 公認会計士法 18 公認会計士及び監査法人の業務 19 監査法人の社員の責任 20 有限責任監査法人 21 監査法人による情報開示 22 独立性に関する法規制 23 被監査会社等が大会社等である場合の規制 24 模擬試験 25 模擬試験　解説
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容
科目番号	52
授業科目	公認会計士　経営学基礎
実務家教員授業	
学部・学科	経理本科１年制学科
履修年次	１年次
開講学期	３学期
科目区分	選択
授業方法	講義
授業時間	８０時間
授業コマ数	４０コマ
授業概要	公認会計士論文式試験合格のために必要な経営学の基礎知識を学習する
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習
達成目標	公認会計士論文式試験合格のために必要な監査論の基礎知識を習得する
教科書	オリジナルテキスト
特記	
授業計画	1 投資理論の基礎知識 2 最適なポートフォリオの選択 3 資本資産評価モデル：CAPM 4 債権評価 5 裁定取引と効率的市場 6 マルチファクターモデルと行動ファイナンス 7 企業財務論の目的 8 資本コスト 9 最適資本構成 10 プロジェクトの評価 11 配当政策（ペイアウト政策その１） 12 自社株買い（ペイアウト政策その２） 13 財務情報分析 14 バランスト・スコアカード（BSC） 15 デリバティブ 16 先物取引 17 オプション取引 18 オプション取引を用いたポートフォリオ（オプションの合成） 19 金利オプション 20 スワップ取引 21 テイラーの科学的管理法 22 ファヨールの管理論 23 人間関係論と近代モチベーション論 24 バーナード論 25 サイモン、マーチ論 26 ゴミ箱モデル 27 管理原則論

授業計画	28	組織構造論（各論）
	29	組織文化論
	30	集団の意思決定
	31	コンフリクト論とダイバーシティ経営
	32	動機づけ理論
	33	リーダーシップ理論
	34	経営戦略論の基礎概念
	35	多角化戦略
	36	垂直統合戦略
	37	国際化戦略
	38	ポーターの競争戦略論
	39	模擬試験
	40	模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60%　出席点40%　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	53	
授業科目	公認会計士　総合演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	
実務家教員授業		
学部・学科	経理本科１年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	２学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	４００時間	
授業コマ数	２００コマ	
授業概要	公認会計士短答式試験合格のために必要な模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	公認会計士短答式試験合格のために必要な模擬試験で合格点を取る	
教科書	実力養成答練　短答直対答練　短答公開模試	
特記		
授業計画	1～	財務会計論　計算猛特訓１～６
	7～	管理会計論　計算猛特訓１～６
	13～	財務会計論　実力養成答練１～６
	19～	監査論　実力養成答練１～６
	25～	企業法　実力養成答練１～６
	31～	財務会計論　ステップ答練Ⅱ１～１４
	59～	管理会計論　ステップ答練Ⅱ１～１０
	79～	財務会計論　ステップ答練直対１～４
	87～	管理会計論　ステップ答練直対１～４
	95～	財務会計論　短答直対答練（前期）１～４
	103～	財務会計論　短答直対答練（後期）１～４
	111～	管理会計論　短答直対答練（前期）１～４
	119～	管理会計論　短答直対答練（後期）１～４

授業計画	127 ～ 135 ～ 143 ～ 151 ～ 159 ～ 167 ～ 175 ～ 183 ～ 191 ～ 199 200	監査論　短答直対答練（前期）１～４ 監査論　短答直対答練（後期）１～４ 企業法　短答直対答練（前期）１～４ 企業法　短答直対答練（後期）１～４ 財務会計論　短答計算猛特訓１～８ 管理会計論　短答計算猛特訓１～８ 財務会計論　短答本試験体感DAY 短答式公開模擬試験（前期） 短答式公開模擬試験（後期） 模擬試験 模擬試験　解説
成績評価方法 (試験実施方法)	定期試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内　容	
科目番号	54	
授業科目	公認会計士　総合演習Ⅴ・Ⅵ	
実務家教員授業		
学部・学科	経理本科１年制学科	
履修年次	１年次	
開講学期	１学期	
科目区分	選択	
授業方法	演習	
授業時間	２００時間	
授業コマ数	１００コマ	
授業概要	公認会計士論文式試験合格のために必要な模擬試験を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	公認会計士論文式試験合格のために必要な模擬試験で合格点を取る	
教科書	応用答練　直対答練　公開模試	
特記		
授業計画	1～	会計学Ⅰ論文応用答練１～４
	9～	会計学Ⅰ論文直対答練１～４
	17～	会計学Ⅱ論文応用答練１～４
	25～	会計学Ⅱ論文直対答練１～４
	33～	監査論論文応用答練１～４
	41～	監査論論文直対答練１～４
	49～	企業法論文応用答練１～４
	57～	企業法論文直対答練１～４
	65～	租税法論文応用答練１～４
	73～	租税法論文直対答練１～４
	81～	経営学論文応用答練１～４
	89～	経営学論文直対答練１～４
	97～	論文式公開模擬試験
	99	模擬試験
	100	模擬試験　解説
成績評価方法 （試験実施方法）	定期試験60％　出席点40％　模擬試験における科目別得点で評価	
備考		